

うつのみや 社協だより

落語で学ぼう!! “成年後見制度”



落語家 桂ひな太郎さんによる
成年後見落語「後見爺さん」



座談会「後見人の選び方～良い後見人とは～」



会場の様子



広がる成年後見制度の輪

2月20日(金)、成年後見制度の更なる理解啓発及び関係機関とのネットワークづくりを進めていくことを目的に「落語で学ぼう!!成年後見制度 & 個別相談会」を開催しました。

当日は約200名の方が参加し、落語家 桂ひな太郎さんによる成年後見落語と座談会に耳を傾け、成年後見制度について理解を深めていただきました。また、希望者を対象に弁護士・司法書士・行政書士等の専門職による個別相談会も併せて行いました。

“うつのみや社協だより”は、**回覧**です。よろしくお願い申し上げます。

皆さまからのお預かりした社協会費は、宇都宮市社協が推進する地域福祉事業に活用されています。皆さまの協力をよろしくお願いいたします。

地域福祉事業（活動）をご紹介します

ふれあい・いきいきサロン ～地域の皆さんが集う交流の場～

ふれあい・いきいきサロンは、地域の身近な場所（公民館や集会所）などを会場に、高齢者や障がいのある方、子どもや子育て中の親など地域の方々が気軽に集い、趣味や教養活動、健康増進活動などの他、おしゃべりを楽しみながら仲間づくりや生きがいづくりを行う交流の場です。

宇都宮市内には126カ所（H27.3.1現在）のサロンが設置され、それぞれ特色ある活動が展開されています。

～3つのキーワード～ 「楽しく」「気軽に」「無理なく」

- ①参加者も、運営をサポートするボランティアも楽しむことが長続きのポイントです。
- ②「参加したいときに参加する」、そんな自由な気軽さがサロンの特徴です。
- ③プログラムがなくても、おしゃべりだけでも大丈夫です。「無理なく」が基本です。



ハーモニカに合わせてみんなで合唱
サロン梵天（明保地区）



楽しくうちわづくり
あけぼの会（陽東地区）

サロンの効果

仲間
づくり

心と体の
健康

支えあいの
輪の広がり

情報提供
・
情報交換

安心・安全情報キット配付事業

～万が一への備えがつなぐ安心の輪～

- 高齢者や障がいのある方などに、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などの必要な情報を記入した用紙を入れられる、専用のプラスチック容器（キット）を配付しています。
- キットは、冷蔵庫に保管しておくことで、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなどしたときに、救急隊員や救助者がその情報を即座に確認することができ、救急医療に役立ちます。
- 地域で福祉活動をしている方がご本人へ直接手渡しすることで、その後の見守り活動にも役立てられます。



キットを使用している
Aさん

自宅で体調が悪くなり、なんとか救急車を呼ぶことができたけれど、持病や離れて暮らしている家族のことが伝えられませんでした。でも、このキットがあってとても助かりました。

入院後も、サロンの仲間がお見舞いに来てくれて、とてもうれしかったです。



キット配付の様子

※安心・安全情報キットは、地域の見守り活動の一環として各地区社協を通じて配付しています。
詳細は地域福祉課までお問い合わせください。

します！

【お問い合わせ】 地域福祉課（総合福祉センター5階）
電話 636-1215 FAX 637-2020

男性高齢者調理講習会 ～男性のための楽しい料理教室～



おもに男性のシニア世代の方々を対象に地区社協が調理講習会を開催し、調理方法を学びながら、同世代の方々との交流の促進を図ることを目的とした事業です。

家庭や地域の事業(イベント)等で、受講した方々が調理技術を発揮し、地域社会でのデビューを果たしている例もあります。

河内地区では、年に2回「男性のための楽しい料理教室」を栄養士や食生活改善推進員、保健センター保健師などの協力を得ながら開催しています。

1月16日(金)に今年度2回目の教室が開催され15名の方が参加されました。初めに、河内保健センターの保健師より、インフルエンザの予防や効果的な手洗い・うがいの仕方についての講話、続いて栄養士から本日のメニューの紹介、調理を進めるコツや栄養に関する講話を受けました。

いよいよ料理がスタート！食生活改善推進員のアドバイスを受けながら、グループの中で協力し合い、すべての料理を作り終えた後は、みんなでおいしくいただきました。

帰り際には、「家に帰って復習しよう！」「カミさんに作ってあげよう！」など、うれしい声も聞かれました。

料理を通じて男性の特技がひとつ増え、“絆”が深まっています。



地区社協だよりの発行 ～地区社協をもっとPR～



多くの地区社協では、地域で行う社協事業をPRするため「地区社協だより」を発行しています。年に数回程度、各地区が趣向を凝らして発行しています。掲載内容は、地区社協の事業紹介や、事業実施報告書等、身近な地域で行われている地域福祉事業(活動)についてご紹介しています。



峰地区では、初めての地区社協だよりの発行に向けて、編集委員会を組織し、約半年にわたり協議を重ねました。タイトル「こもれび」は編集委員のアイデアから決定し、表紙イラストは宇都宮大学の学生にお願いして作成しました。

内容についても「峰地区社協の事業活動状況を地域住民へ、理解しやすい内容と表現で伝える広報紙であること」を目標に、編集委員会で何度も協議し検討しました。

第1号は、峰地区社協の事業内容をひとまとめにし、地区社協の活動内容がよくわかる記事になっています。



※地区社協だよりは地区内で回覧もしくは世帯配付するほか、地区内の市民センターやコミュニティセンターなどの公共施設等にも設置しています。

平成
27
年度

宇都宮市社会福祉協議会

事業計画・予算



3月20日開催の理事会、3月28日開催の評議員会において、平成27年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

本会では、「第3次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、共に支えあい、助けあいながら、安心して暮らし続けることができる“向こう三軒両隣”の地域社会の実現を目指し、地域福祉推進の中核的組織として、地域の様々な生活・福祉課題に向き合い、行政や関係機関・団体等と連携・協働しながら、より一層の地域福祉の発展に尽力していきます。

●事業計画

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進
- ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
- ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

- ①ボランティア養成の充実
 - (ア) ボランティア体験プログラムの実施
 - (イ) ボランティア入門講座の開催 (ぼらんていあ Saturday)
 - (ウ) 学生ボランティアの養成 (サマーボランティアスクール)

(エ) 災害福祉救援ボランティア養成講座の開催

- (オ) 傾聴ボランティア養成講座の開催
- (カ) コミュニティフレンド養成講座の開催
- (キ) サンタクロースアカデミー in うつのみやの開催
- (ク) 福祉共育サポーター養成講座の開催
- ②出前福祉共育講座の充実
 - (ア) 出前福祉講座連絡会の開催
 - (イ) 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

- ①老人クラブ支援の充実
- ②老人福祉センターの機能の充実
- ③障がい福祉施設機能の充実
- ④地区福祉まつり支援の充実
- ⑤男性高齢者調理講習会事業の充実

(2) 情報提供体制の充実

- ①総合相談センター事業の充実
- ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

(3) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

- ①権利擁護センター(あすてらす)事業の実施【県社協委託事業】
- ②法人後見事業の実施
- ③介護保険事業等の充実
 - (ア) 居宅介護支援事業の運営

(イ) 訪問介護事業の運営

- (ウ) 居宅介護事業所の運営
- (エ) 通所介護事業の運営
- (オ) 生活介護事業所の運営
- ④地域包括支援センター事業の充実
- ⑤障がい福祉サービス等の利用計画作成事業の運営
- ⑥福祉車両貸出サービス事業の推進
- ⑦車いす等福祉機器・機材の貸出事業の推進
- ⑧福祉理美容出張補助サービス事業の推進
- ⑨ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
- ⑩福祉機器・介護用品展示室の開設
- ⑪生活福祉資金等貸付事業
 - 臨時特例つなぎ資金事業の実施【県社協委託事業】
- ⑫社会福祉資金貸付事業の管理

3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

- ①コミュニティーワークの推進
- ②コミュニティーワーク推進モデル事業【県社協委託事業】
- ③地区社会福祉協議会支援の充実
- ④ふれあい・いきいきサロン事業の推進
- ⑤ふれあい・いきいきサロン連絡会の設置【新規事業】
- ⑥安心・安全情報キット配付事業の推進
- ⑦ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の充実
- ⑧自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関・団体の連携・協働の推進
- ⑨福祉団体・福祉施設の連携・協働の推進
- ⑩まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進
- ⑪ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) ボランティアの相談・登録・調整

(イ) ボランティア団体への活動支援の推進

- (ウ) 中間支援組織との連携強化
- (エ) ボランティア研修会の開催
- ⑫災害ボランティアセンター機能の充実
 - (ア) 災害ボランティアセンター運営訓練の実施
 - (イ) 災害情報の収集・発信
 - (ウ) 災害福祉救援ボランティアフォローアップ研修
- ⑬ファミリーケアサービス事業の充実
- (2) 市民の主体的な地域活動への支援
 - ①モデル地区による小地域福祉活動計画の策定【新規事業】
 - ②福祉協力員制度の推進
 - ③社会福祉協議会会員制度の充実
 - ④ぎんなん基金事業の充実
 - ⑤善意銀行事業の促進
 - ⑥敬老会事業の充実

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センター（5施設）
ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘
上河内
- ②地域活動支援センター（3施設）
雀の宮作業所・若草作業所・障がい者福祉センター
- ③総合福祉センター（2施設）
宇都宮市総合福祉センター・河内総合福祉センター

(2) 市からの受託事業の実施

- ①障がい者生活支援センター事業
- ②地域包括支援センター事業（2箇所）
地域包括支援センター御本丸・上河内地域包括支援センター
- ③日中一時支援事業（3箇所）
あっとほーむすずめ・うだい・かわち
- ④身体障がい者福祉バス事業
- ⑤奉仕員養成講座（手話・音訳・点訳）
- ⑥要約筆記者派遣事業
- ⑦移動支援事業
- ⑧生活困窮者自立相談支援事業の推進【新規事業】
- ⑨宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業【新規事業】

●収支予算

(1) 社会福祉事業

①法人運営	206,358千円
②福祉活動推進事業	39,797千円
③ボランティアセンター事業	37,323千円
④総合相談センター事業	4,047千円
⑤権利擁護センター事業	7,509千円
⑥ぎんなん基金事業	46,463千円
⑦善意銀行事業	1,200千円
⑧共同募金配分金事業	42,555千円
⑨生活福祉資金貸付事業	8,472千円
⑩社会福祉資金貸付事業	3,018千円
⑪老人福祉センターの運営	212,429千円
⑫地域活動支援センター運営	45,747千円
⑬障がい者福祉センターの運営	36,043千円
⑭宇都宮市総合福祉センターの運営	75,354千円
⑮河内総合福祉センターの運営	57,558千円
⑯訪問介護事業	50,091千円

⑰通所介護事業	28,332千円
⑱居宅介護支援事業	23,131千円
計	925,427千円

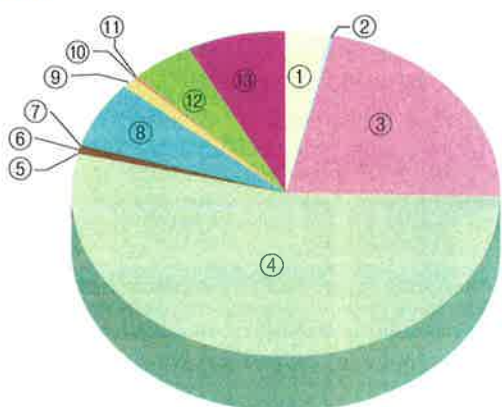
(2) 公益事業

①地域包括支援センター御本丸の運営	30,206千円
②上河内地域包括支援センターの運営	31,119千円
③身体障がい者福祉バス事業	8,844千円
④障がい者生活支援センター事業	15,860千円
⑤日中一時支援事業	24,961千円
⑥生活困窮者自立相談支援事業	15,370千円
⑦ファミリーケアサービス事業	9,338千円
計	135,698千円

総合計 1,061,125千円

収入

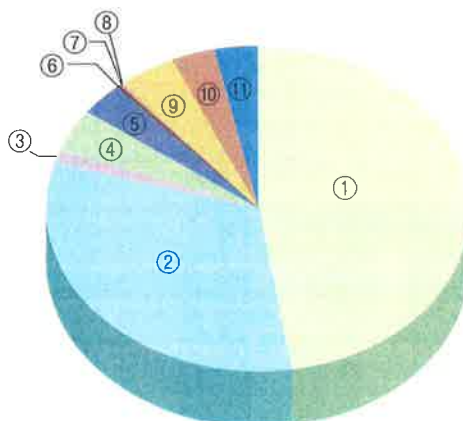
1,061,125千円 (単位：千円)



①会費収入	35,935	⑧介護保険事業収入	70,092
②寄付金収入	4,201	⑨障害福祉サービス等事業収入	12,525
③経常経費補助金収入	228,922	⑩受取利息配当金収入	2,309
④受託金収入	569,306	⑪その他の収入	316
⑤貸付事業収入	143	⑫積立資産取崩収入	49,336
⑥事業収入	9,745	⑬繰越金	78,245
⑦負担金収入	50		

支出

1,061,125千円 (単位：千円)



①人件費支出	505,454	⑦返還金支出	3,889
②事業費支出	337,632	⑧固定資産取得支出	1,293
③事務費支出	16,548	⑨基金積立資産支出	46,294
④共同募金配分金事業費支出	42,915	⑩積立資産支出	33,460
⑤助成金支出	36,818	⑪予備費	35,362
⑥負担金支出	1,460		

ボラセン
情報コーナー



ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します

平成26年度福祉共育・ボランティア推進フォーラム

オモイツタエル 3.11

～ともしびプロジェクトinうつのみや2015～



東日本大震災から丸4年が経ち、震災の記憶も風化されつつある中、今年も「忘れない」をカタチにして、キャンドルに希望の光を灯す「オモイツタエル 3.11」を開催しました。

あの日をふり返ることで、日頃からの「支えあい」「助けあい」について改めて考える機会となりました。

平成25年度から「ともしびプロジェクト宇都宮支部」と共催し、今年で2回目の開催となりました。「宇都宮から被災地へ」その希望の光をさらに大きくするため、市内の関係機関・団体、さらに高校生ボランティアや企業・保育園の方々に協力いただきました。

また当日は、ボランティアで「畑楽会(はたらくかい)」による手打ち蕎麦のチャリティ販売も行われ、たくさんの方にご来場いただきました。

第 1 部



バンピーニとよさと

昼間は市内各所に飛び出し、キャンドルホルダーやメッセージカードに、それぞれの思いを書いてもらいました。



ララスクエア
宇都宮



ベルモール



東武宇都宮百貨店



畑楽会によるチャリティ蕎麦販売

第 2 部

夕方からはオリオンスクエアにて、1,500個のキャンドルに明かりを灯し、岩手県山田町で被災した高橋はるかさん(宇都宮大学)の経験談や、故郷福島での原発事故により、栃木県に移住した歌手のCheka(チェカ)さんと宇都宮市在住でギタリストのイワサキカズヒロさんによる演奏を聴きました。夕闇に揺らめくキャンドルの明かりを前に参加者同士が被災地を想い、共に支えあう気持ちを分かち合いました。



キャンドルに点灯



キャンドルアート



高橋はるかさんによる経験談



被災地への思いを込めて...
Chekaさんとイワサキカズヒロさん



※「ともしびプロジェクト」

「忘れられることが一番怖い…」被災者の方が発した言葉から生まれた被災地への想い「忘れないをカタチに」するキャンドルアートプロジェクト。



平成27年度

ボランティア養成講座



ボランティアセンターが、平成27年度に開催する各種ボランティア養成講座をご案内します。
講座の詳細やお申し込み方法などは、随時「社協だより」「ボランティアセンターホームページ」
「広報うつのみや」などでお知らせしていきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

◎テーマで学んでみたい!

	講座名	内容	開催予定
1	災害福祉救援 ボランティア養成講座	様々な災害に対応できるよう、防災や日頃からできる減災方法などについて学ぶ講座です。	6月～7月
2	サマーボランティア スクール	高校生や大学生を対象とした夏のボランティア体験講座です。たくさんの仲間と出会い、喜びや感動を分かちあい夏の思い出づくりに参加してみませんか?	7月～8月
3	傾聴ボランティア 養成講座	傾聴とは、相手の話を否定せず受容し、心を傾けて聴くことです。傾聴の基本や技術などを、講義やロールプレイをとおして学ぶ講座です。	9月
4	サンタクロースアカデミー inうつのみや	サンタクロースになるための「質問回答学」「プレゼント渡し方学」などを学び、講座修了後はクリスマスの時期に合わせて市内の高齢者・障がい者・児童施設等を訪問します。	12月
5	コミュニティフレンド 養成講座	障がい者と活動や余暇をともにしながら、社会との関わりを広げていく「まちの中のとまたち(コミュニティフレンド)」について学ぶ講座です。	平成28年1月
6	福祉共育サポーター 養成講座	ボランティアセンターで実施している福祉共育推進のための出前福祉共育講座を、サポートしていただけるボランティアを養成する講座です。	平成28年2月

◎体験したい!知りたいたい! (ボランティア活動を始めるきっかけに)

	講座名	内容	開催予定
1	ぼらんていあSaturday ～聴覚障がいの理解～	①「聞こえないってどんなこと？」 ②「手話を学ぼう」	7月
2	ぼらんていあSaturday ～発達障がいの理解～	①「発達障がいってなんだろう？」 ②「障がいのある子どもと一緒に遊ぼう」	12月
3	ぼらんていあSaturday ～精神障がいの理解～	「精神障がいってなんだろう？」	平成28年1月
4	エコキャップ運搬体験 ボランティア	社協にお寄せいただいたペットボトルキャップ(エコキャップ)を車へ積み込むボランティア体験です。	毎月 第3土曜日

第5回

ボランティアセンター登録団体紹介コーナー

ボランティアセンターでは、様々な分野で活躍しているボランティア団体が登録しています。
今回は、音訳(朗読)のボランティア活動を行っている団体をご紹介します。

団体名

- ①朗読ボランティアグループ「ひびき」
- ②デイジー全文訳センター「アクセス」
- ③音訳ボランティアグループ風
- ④朗読ボランティアグループひばり
- ⑤音訳ボランティアグループかっこう



※掲載は登録順です。

「音訳(朗読)ボランティア」って、なに?

音訳(朗読)は、視覚障がい者の方々に音声で情報をお伝えする大切な手法です。音訳(朗読)ボランティアは、カセットテープやCD、対面朗読、デイジー(デジタル録音の情報システム)など様々な手法を用います。

ボランティアセンターでの音訳奉仕員養成講座を得て既存のグループに所属するなど、常に仲間と共に勉強しあいながら活動しています。

お問い合わせ

ボランティアセンター(総合福祉センター8階)
TEL 636-1285 / FAX 634-2870

ホームページもご覧ください。

宇都宮市社協ボラセン

検索

社協会費は、皆さまの地域の福祉活動を支えています

平成27年度宇都宮市社会福祉協議会

社協会員にご加入をお願いいたします

宇都宮市社会福祉協議会では、地域福祉を推進する構成員として住民、団体、法人の皆さまに会員になっていただき、会費のご協力をいただいています。社協会費は地域福祉活動の充実のために欠かすことのできない財源です。今年度も、事業計画に基づき、より充実した活動を展開して参りますので、本会の活動にご理解いただき、会員への加入にご協力をお願いいたします。

会員の種類と会費

- ・ 普通会員(各世帯) 300円以上
- ・ 特別会員(個人) 1,000円以上
- ・ 団体会員(社会福祉機関・団体・施設) 5,000円以上
- ・ 賛助会員(企業・事業所・個人) 10,000円以上



ありがとう
ございました

平成26年度は皆さまに**36,127,074円**のご協力をいただきました。

皆さまからお預かりした会費は次のような事業に役立てられます

地区社協が行う福祉活動のために

- ・ 福祉協力員による見守り活動
- ・ ふれあい・いきいきサロン事業
- ・ 安心・安全情報キット配付事業
- ・ ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業
- ・ 敬老会事業 …その他、地区社協独自の事業などに

市社協が地域の福祉活動を支援するために

- ・ 地区社協活動への支援
- ・ 広報・啓発活動

相談事業推進のために

- ・ 総合相談センターの開設

在宅福祉サービス事業のために

- ・ ファミリーケアサービス事業等

ボランティア活動の推進のために

- ・ ボランティアの登録やコーディネート
- ・ ボランティア情報の提供
- ・ ボランティア養成講座や体験講座の開催

ご利用ください！
社協の福祉サービス

ファミリーケアサービス

家事援助などのサービスを希望する「利用会員」とサービスを提供する「協力会員」で構成する住民参加型在宅福祉サービスです。

◆利用対象者

家事援助を必要としている高齢の方、障がいのある方、妊産婦

◆サービス内容

食事の準備や後片付け、衣類の洗濯、住居の掃除、生活必需品の買い物等

◆利用日時

月曜日～金曜日
(午前9時～午後5時)

◆入会金

会員制のため、入会金が必要です。

利用会員 3,000円

協力会員 1,000円

◆利用料金

1時間につき、860円

お問い合わせ

福祉サービス課(総合福祉センター6階)
電話 636-1215 FAX 610-6605

ぎんなん基金



ご協力ありがとうございました。

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成27年1月1日～3月31日

寄附順・敬称略

	寄附者(団体)	金額(円)
1月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	58,000
	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	25,000
	宇都宮市民福祉の祭典実行委員会	184,969
	細谷地区社会福祉協議会 上澤 悦子	11,836
	ビッグサンユニー・生鮮館駒生店	13,515
2月	公益財団法人全国友の会 宇都宮友の会	30,000
	宇都宮大学教育学部附属小学校 F F 総務委員会	10,000
	ステップのぞみ	7,140
	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	28,000
	松が峰教会	20,000
3月	栃木県卓月会	30,000
	レストラン風見鶏 お客様一同	20,600
	宇都宮市総合福祉センターお客様一同	3,942
	陸上自衛隊北宇都宮駐屯地隊員一同	68,500
	栃木県労働者福祉協議会福祉まつり実行委員会	50,000
3月	㈱サンユニー山本店 お客様一同	8,015
	河内総合福祉センター お客様一同	6,113
	宇都宮市老人福祉センターことぶき会館 お客様一同	8,133
	宇都宮市老人福祉センターすこやか荘 お客様一同	1,874
	長寿88講座福祉チャリティー	4,771
	上河内老人福祉センター お客様一同	1,572
	中部地区吟剣詩舞道協議会 会長 野中 琴風	10,520
	ユニー株式会社 アピタ宇都宮店	13,592
	葬祭会館川田市民ホール	10,000
	宇都宮市立雀宮南小学校(厚生事業部)	2,485
	ステップのぞみ	8,919
なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	17,000	
中央地区こども茶道教室	11,000	
御幸ヶ原地区社会福祉協議会	14,400	

平成26年度の寄附総額

累計 **3,507,564円**

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)